

本年度の結果

	国語
阿蘇市	63
全国	67.2

領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
阿蘇市	67.4	55.2	70.1	24.4	68.8
全国	71.2	63.4	72.6	26.7	71.2
観点別	知識・技能	思考・判断・表現			
阿蘇市	63.9	63.0			
全国	68.9	65.5			

本年度の主な結果について

- 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
- 複数の情報や文章を読んで理解したことを基に、自分の考えをまとめることに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことはできている。(1三(2))
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約したものを選択することはできている。(2一)

【課題】

言葉の特徴や使い方に関する事項

- 日常よく使われる敬語を理解することに引き続き課題がある。(3三)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。(意外、期間)(1三)

情報の扱い方に関する事項

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題がある。(1一)

話すこと・聞くこと

- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題がある。(3一(1))

書くこと

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。(1二)

読むこと

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題がある。(2二)
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。(2四)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「国語の勉強は好き」「国語の授業の内容はよく分かる」は、全国と変わらない。
- 書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることは全国を上回っている。

【課題】

- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する力は、昨年よりも低く、全国を下回っている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- OPDCAサイクルによる課題探究型学習を進め、課題設定―見通し―解決する―まとめ―振り返りの学びを構築する。さらに、アウトプットを重視した授業づくりを進め、知識の構造化を図る。
- 「書くこと」の指導では、自分の考えを分かりやすく伝えるために、図表やグラフなどを用いて、書き表し方を工夫するなどの授業を展開する。
- 「読むこと」の指導改善では、複数の資料を読んで理解したことを整理したり、理解したことの中から既有的知識などに結び付くことを考えたりしながら、自分の考えをまとめる授業を展開する。

【日常的な取組】

- 日常的に言葉による見方・考え方を働かせるとともに、言語感覚を養い、自分なりのものの見方や考えを形成する場を設ける。また、読書活動や速音読にも積極的に取り組む。

【家庭学習等】

- 授業と連動した家庭学習の習慣化とともに、予習や復習の内容の充実を図る。